



《ユキワリソウの育て方》

Q. ユキワリソウは花が咲き終わったらどのように育てるのですか？

A. 鉢植えの場合は花が終わったら、水はけのよい土で一回り大きな鉢に植替え、夏には日陰になる場所に置きます。肥料と水を忘れずにやってください。秋からは日向にだすと早く咲きます。

＜ポイント＞・・・本来はユキワリソウはサクラソウ属の植物の名前ですが、いつの間にかミスミソウの呼び名になりました。主に日本海側の海岸に近い落葉樹林などに生えています。

1 ユキワリソウ(雪割草) キンポウゲ科ミスミソウ属 (*Hepatica acuta* Briton)

自生地の環境・・・山地の林下で木もれ日のさす排水のよいところや、溪流沿いの落ち葉の多い適湿地。

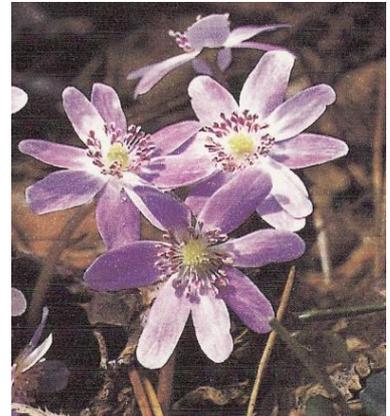
2 栽培のポイント

桐生砂5、赤玉土3、パミス2の混合などの排水のよい土に植える。

初夏からは日陰、晩秋からは日向に置く。

古葉を早く切り捨ててはいけません。

常に適湿を保ち、水切れさせない。



【植え方】

花が終わったら4～5号鉢の鉢底に鉢の高さの1/3くらい、大粒のパミスを入れ、上記の用土で根を広げて植えます。芽は出しておきます。

【増やし方】

・株分け：春か秋に1株ずつに分け、根を乾燥させないように植えます。

・実生：タネをとりまきすると3～4年で開花します。

3 四季の管理

春…早いものは2月下旬から咲き始めます。花が咲き終わってから肥料をやりませう。油粕や緩効性化成肥料であれば夏までに2回くらい株当り一つまみほど株のまわりにまきます。

夏…涼しい日陰において、過湿を避け、適湿を保ちます。虫の害があれば殺虫剤を散布します。

秋…春と同じように1月おきに2回くらい肥料を施します。11月からは日だまりに出します。

冬…水切れさせないように注意します。